

口腔機能管理って何をするの？

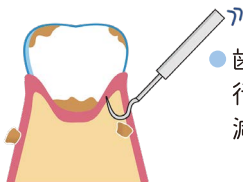
歯科医師・歯科衛生士が
専門的な口腔ケアを
行います。



歯科治療

- むし歯治療や歯周病治療、抜歯などを行い感染源を除去
- 化学療法や放射線治療による口内炎の痛みの緩和、口腔乾燥や味覚異常への対応

専門的な口腔清掃



- 歯石除去、義歯清掃などを行いお口の中の総細菌量を減らす

口腔衛生指導

- 歯みがき指導



周術期の
口腔ケアで
口の中の細菌の量を
減らすことに
大きな意義が
あります。

歯科医師・歯科衛生士は本来の病気の
治療が円滑に進むようにサポートします。

手術を受けることになる、その準備で歯科
医院に行く時間がないことがよくあります。
定期的に歯科健診や口腔清掃を受けることで、
急な病気でも心配事をひとつ減らすことが
できます。

かかりつけ歯科医院を
もちましょう！

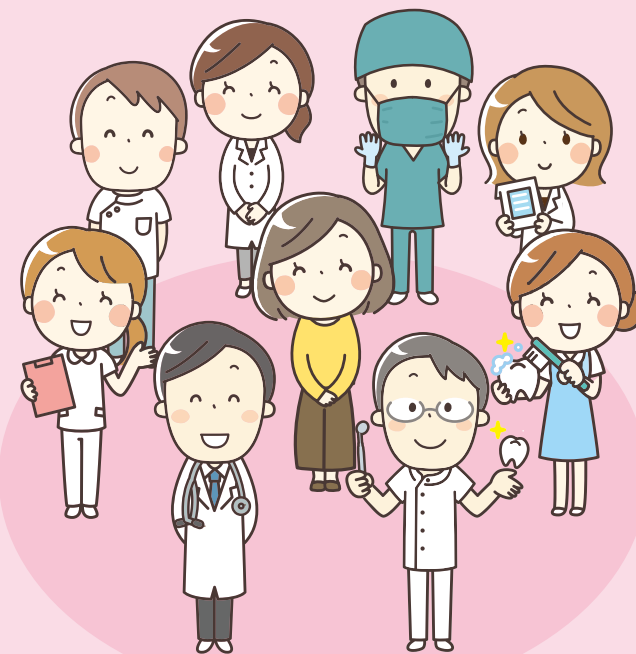


がんをはじめ、さまざまな疾患の治療を、
医科と歯科が連携してサポートします。

● お問い合わせ先

周術期の口腔ケアは
あなたの命を守ります

周術期の 口腔健康管理



周術期とは、手術やがん化学療法・放射線療法、
緩和ケア等の治療中及びその前後を含めた一連
の期間です。

周術期に歯科医師・歯科衛生士が行う専門的な
口腔ケアを周術期等口腔機能管理といいます。

周術期に口腔機能管理が大切なわけ

お口の中は体温と同じ37°Cほどに保たれ、細菌（常在菌）がとても繁殖しやすい環境です。歯垢（プラーク）1mg中に数億もの細菌がいると言われています。この細菌が肺炎や手術した部位の感染などの合併症を引き起こします。



歯垢(プラーク)

歯の保護用マウスピース

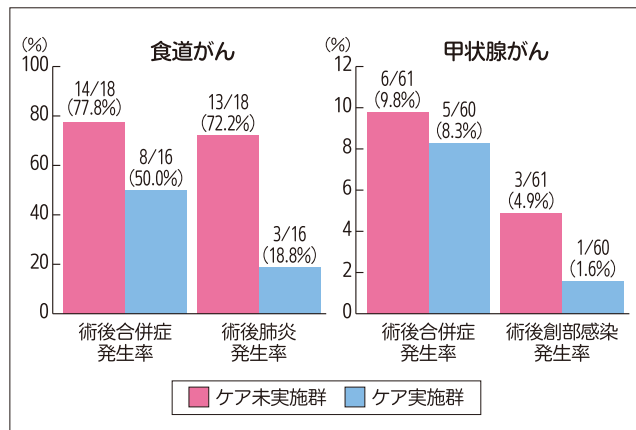
全身麻酔では気管挿管（呼吸を行うためのチューブを口から気管に入れる）を行います。この時に歯が折れたり、ぐらつく歯が抜けてしまうことがあります。これを防ぐためにマウスピースを事前に作製して歯を保護します。



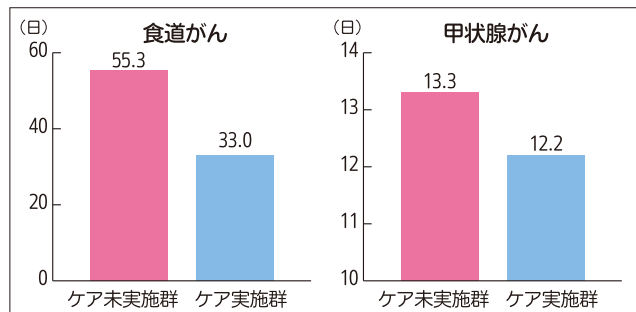
周術期の口腔ケアにより合併症、入院日数が減少!

周術期の口腔ケアはさまざまな合併症の予防が行えるとともに、入院日数の減少につながることが分かっています。

●合併症



●入院日数



術後の肺炎の予防

気管挿管時の歯の保護

口腔機能管理の目的

口腔粘膜炎の予防・治療

手術部の感染予防

経口摂取のサポート
(術後早期に) 食事の開始

化学療法や放射線療法による口内炎

大きな口内炎があると痛みで食事がとれなくなります。その結果、体重減少や全身の抵抗力の低下をきたし、予定していた治療ができなくなることもあります。



口内炎の痛み、口腔乾燥や味覚異常をやわらげることで、術後早い時期にお口から食事をとることができるようになります。



「厚生労働省第84回社会保障審議会医療保険部会 提出資料より」